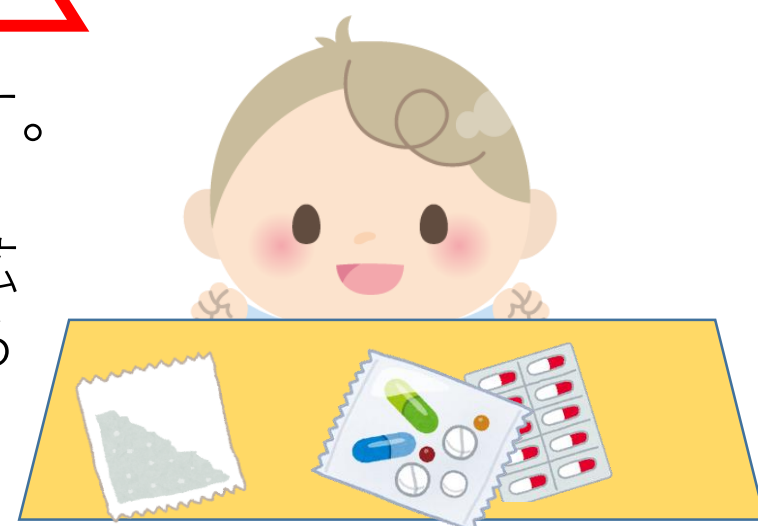


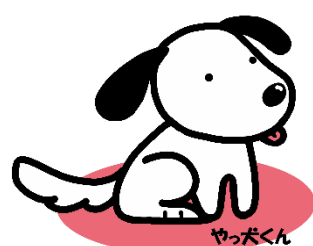
子供による 医薬品の誤飲事故に注意



子どもが大人用の医薬品を誤飲する事故が目立ちます。大人や兄弟の薬の保管には十分な注意が必要です。特に、精神・神経系作用薬、糖尿病治療薬、気管支拡張薬、降圧薬は入院を要するような健康被害を生じるおそれがあります。厳重に管理しましょう。



年齢	行動の特徴	事故の特徴	医薬品管理のポイント
6か月から 1歳半頃まで	身近にあるものを手に取り何でも口に運ぶ	内服しない医薬品（塗り薬など）でも誤飲する 錠剤をシートごと誤飲する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもの手の届かない、見えない所に保管しましょう ✓ 服用後は元の安全な場所に片付けましょう
1歳半頃から 2歳まで	周囲への興味・関心が高まり人の模倣をする	足場を使って高いところのものを取り出し誤飲する 包装容器やシートを通常の方法で開けられるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安全な場所に保管するとともに複数の対策（鍵のかかる場所に置く、取り出しにくい容器に入れる等）を講じましょう ✓ 自宅以外の場所（特に実家・親類宅）では祖父母や親戚が服用する薬にも注意しましょう
2歳頃から	興味を持って好んで手に取る	お菓子と間違えて誤飲する（OD錠、ゼリー等の医薬品） シロップ剤等を多量に誤飲する 足場になるものを持ってきて高い場所にある医薬品を取り出す	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 冷蔵庫にジュースと一緒に並べたり、お菓子とまちがえる容器に入れないようにしましょう ✓ 医薬品を出し入れする行為や、医薬品を飲む行為を子どもに見せないようにしましょう



お薬を服用している両親・祖父母の方へ
ちょっと目を離した隙に、医薬品の誤飲事故は発生しています
ご自身の薬は安全な場所に保管をお願いします

万一、誤飲事故が起こったら (事故が発生した際の対処法)

- あわてずに、誤飲の起こった時刻、お子様の状態、薬の名称、飲んだ量を確認しましょう。
- 直ちに専門の相談機関に連絡します。



全国同一の短縮番号（#8000）をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送されます。

中毒110番・電話サービス（一般専用）

■つくば中毒110番（365日 9時～21時対応）

029-852-9999 （情報提供料：無料）

■大阪中毒110番（365日 24時間対応）

072-727-2499 （情報提供料：無料）

- 必要に応じて医療機関を受診しましょう。